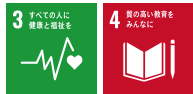


要請番号 (JL61822B11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	I102 障害児・者支援		個別	新規	2年	・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

人口・社会保障・女性地位向上省

2) 配属機関名 (日本語)

オーキデブランシュ学園
NGO

3) 任地 (マダガスカル県アンタナリボレニゲイチャ郡アンタナリボ市) JICA事務所の所在地 (アンタナリボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1972年に設立された知的障害者支援施設で、現在は1歳から72歳までの知的障害児者120名を受け入れている。一般教育支援、特定支援、生涯活動支援、就業支援の4部署があり、年間予算は約1340万円。年齢や障害の重度ごとに15のグループに分け、識字、計算などの基礎教育から、農業、裁縫などの職業訓練、黒板チョークなどの商品生産と出荷・販売といった作業訓練などを通じて、自立支援を行っている。政府からは資金面での支援はなく、運営費は生徒から支払われる授業料と、ドナーなどからの寄付等で賄われている。同配属先には2004年から2009年にかけて、2名のJICA海外協力隊員が派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同学園では、知的障害があり公立校での受け入れが困難な子どもたちや、就業が困難な成人に対し、基礎教育や各種訓練を実施し、将来的な自立を目指した支援を行っている。年齢や障害の重度ごとに分けられた各グループでは、遊びを通じた社会性の育成、識字、計算などの基礎教育、農業、裁縫などの職業訓練、日常生活で必要となる様々な作業や、商品生産から出荷・販売までの作業訓練などを行っている。一方で、同国における障害児者に対する理解や指導技術の遅れから、個々の学習レベルや自立度に合わせた指導法、教材開発には課題がある。こうした背景から配属先は、個々に合った指導法の提案と学習教材の開発、自立を促す効果的なサポート、情操の醸成に効果的なアクティビティの紹介が期待され、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

学園長、指導員と協力しながら、以下の活動を行う。

- 個々の発達や学習の習熟度に合わせた指導法の提案、各レベルに合った学習教材の開発、指導書の作成等を行い、最終的に指導員自身で実践できるよう支援する。
 - 作業訓練の改善点を見つけアイデアを提案し、より効果的な自立支援につながるよう助言する。
 - 演劇や、音楽、美術など、情操の醸成に効果的なアクティビティを紹介する。
- 開園時間は8:30~16:00(月~木)、~13:00(金)。給食も提供される。定期的に遠足等のイベントもあり。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先備品(机、椅子、ホワイトボード、知育玩具、絵本等)、過去の隊員が製作した手洗い啓発キット(ダンスDVD、紙芝居)、栄養改善啓発キット等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 学園長(男性)、指導員16名、その他職員23名程度

活動対象者: 知的障害児者(1歳～72歳)120名(サービスの質を確保するために120名を限度としている)

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(特別支援学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：同僚の経験レベルに合わせて

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(5～30℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】

- ・派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。
- ・2023年10月に当国大統領選が予定されており、2023-3次隊の出発時期は、遅れる可能性あり。